

## 3年生の皆さん ご卒業おめでとうございます

～ 皆さんは、日吉台中学校の大切な卒業生です ～

校長 諏訪部 真史

3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

思い返すと3年生の皆さんにはこの一年間我慢ばかりをさせて本当に申し訳ない思いでいっぱいです。そんな中でも皆さんは、日吉台中学校の最高学年として立派にリーダーの役割を果たしてくれました。6月から再開された学校生活でも感染予防の徹底を図りながらも3カ月間の遅れを取り戻すべく、連日長時間の学習に集中して取り組みました。先生方も3年生の集中力を褒めていました。部活動も制限のある中で後輩の面倒を見ながら最後までしっかりと持てる力を発揮して、台中の伝統をつないでくれました。生徒会が中心となった活動では、医療従事者へのメッセージをみんなで作成して、感謝の気持ちを届けるとともに社会への発信もしてくれました。

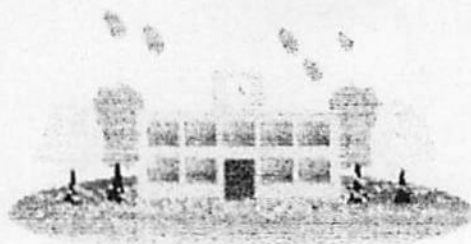
そして、「10月29日3年生の合唱コンクール」は、感染予防や限られた練習時間の中で、皆さん一人ひとりが、心を込めて自分の持っている力を発揮して、それは多くの感動を与えてくれるものとなりました。まさに今年の3年生ならではの「仲間への思いやり」が、「チーム3年」としてとても大きく発揮された瞬間でした。

3月11日、皆さんの卒業式は例年と違い、ご来賓の方々や在校生の参加をご遠慮いただいて実施をしなければならぬものになってしまいました。しかし、在校生はもとより、ご来賓である地域の方々や小学校の多くの先生方も、温かいお気持ちでそれぞれの場所から祈ってくれていることと思います。

たくさんの人たちの温かいお気持ちを受けて、どうぞ胸をはって立派に卒業式を迎えてください。

私はいつも卒業期になると次の詩が一番に浮かび、いろいろな場面で紹介をしています。気に入ってもらえると嬉しいのですが。

「学校」という名の花壇に  
「生徒」という名の種をまきます  
時には「喧嘩」という雨が降り  
「仲直り」という名の温かな光が射します  
そこに「絆」という名の肥料をまきました  
するとそこには「友だち」という芽が出て  
「親友」という葉がつき  
「友情」という花がつき  
そして  
「永遠」という名の種に戻るのです



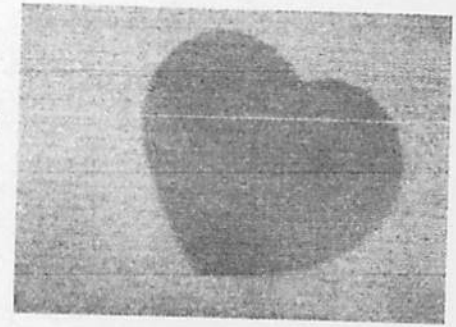
3月11日 295名の日吉台中学校3年生、ご卒業おめでとうございます。

そして1・2年生のみなさんは、あと一か月で進級することになります。

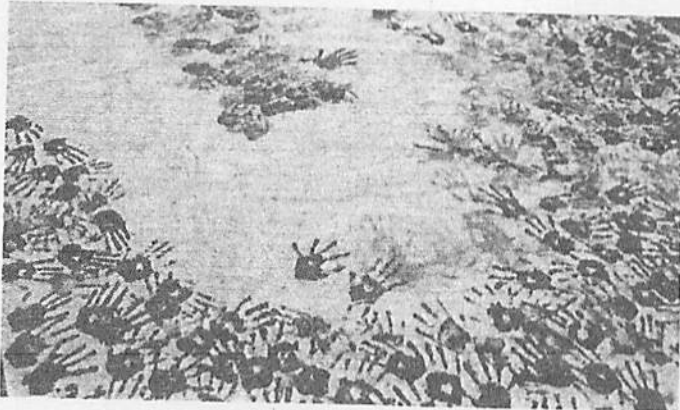
### 3年

3年生は入試も一段落し、クラスレクや卒業制作、映画鑑賞などの特別時間割で中学校生活最後の時間を過ごしています。

保健指導の授業で、ハートの紙が渡されました。よく見ると、小さな小さな穴が開いています。その小さな状態から今のように大きく成長したのだと。



中学校3年間でもずいぶん成長した緑学年の生徒たち。その晴れ姿をお見せするはずの卒業証書授与式に、地域の方々や小学校の先生方をお招きできないことはとても残念です。支えていただいたすべての方々への感謝をこめて、すばらしい式をつくりあげていきます。



←4m×3mほどの大きな布4枚に、3年生全員が手形を押して卒業記念の品を作成しました。(3/11に掲示する予定です)

### 地域

## 美術部、地下道の壁に夢を描く!

すでに「箕輪町HP」のTwitterや地域インターネット新聞「日吉新聞」で紹介されていますので、ご存じの方も多いと思いますが、相鉄・東急直通線における、箕輪町三丁目で工事中の新設地下道の壁面に、本校美術部の生徒たちが壁面をペイントする機会をいただきました。今年度は、なかなか地域のイベントや活動とコラボレーションするチャンスがなく、生徒たちも活躍する場面がありませんでした。自治会の方々やコーディネーターのみなさんのご厚意に感謝の気持ちでいっぱいです。早く実物が見たいところですが、現在はまだ工事中のため、通行が可能になる日を楽しみにしていきたいと思っています。

